



Forest 通信

H29 9

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター

NO. 343



巻頭 photo

高尾山の生きものたち

ツツドリ (カッコウ科)

秋風が吹き始めた頃の桜並木では、ハトに似た野鳥が毛虫をついばんでいる光景が見られることがあります。これは夏鳥のツツドリ(筒鳥・約30cm)が繁殖を終え、南の国へ渡り去るための体力作りと思われるます。

※筒鳥の名前の由来は、その鳴き声が「ポンポンポン」と筒を打ったような音に聞こえることから



今月の一句

「毛虫食べ 体力ばっちり 南帰行く」
(フォレストサポートスタッフ 大作栄一郎)

～テッポウムシ～ (鉄砲虫)

二美ちゃん 富ちゃん 皿ちゃんの



当センター近くの広場に植樹されたカエデやシデに、立ち枯れや時季はずれの紅葉が観られた。テッポウムシ(カミキリムシの幼虫)によるものかと樹木の根際を観察すると、カミキリムシ(種は不明)が産卵した筋状の食痕が確認された。また、産卵後孵化した幼虫が、材に侵入する際に掻き出された木屑も見られた。

最初に立ち枯れた木は、新葉が出て間もなく葉が萎れてきた。この木は昨年うちにカミキリムシの被害に遭い、「巻枯らし」状態で冬を越し、葉を伸ばしたものの、樹皮(師部)がぐるりと食害を受けていたため、光合成成分が根に回らず、水を揚げる力が弱くなり葉が萎れたのだろう。テッポウムシがカミキリムシ(成虫)になり、脱出した孔も確認できた。

7～8月以降に立ち枯れや紅葉した木は、昨年も被害を受け弱っていたところを、6～7月頃食害部分に産卵され、更に孵化した幼虫(テッポウムシ)に導管部分を食害されたためだろうか。

カミキリムシは、弱った樹木に産卵しやすいと言われる。ここの樹木の植栽は2年位前で日も浅く、根の

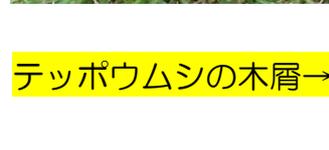
活着が不十分なところをカミキリムシに狙われたのだろうか。

この広場だけの観察ではあるが、カエデは他の樹種よりも被害が多く見られた。また、樹木の根際が草等で覆われている木に被害が多いように感じられるが、私の思い過ごしだろうか。

カミキリムシはカブトムシやクワガタムシ同様、子供達に人気の昆虫だが、私などはカミキリムシと聞くと、松枯れを引き起こす害虫のマツノマダラカミキリを思い浮かべてしまう。(二美)



←カミキリムシ成虫の産卵箇所



テッポウムシの木屑→



～ “山の日” 制定記念イベント～



関東森林管理局「山の日」記念イベントを高尾山エリアにおいて、一般の者を対象に当センターでも各種記念イベントを実施しました。(屋)

「まるごと！」

高尾山GREEN CLEAN作戦

(8月11日開催)

昨年に引き続き、今年も国民の祝日「山の日」制定記念イベントとして、高尾の自然を親しみながらボランティアで登山道のゴミを拾うecoハイキング「まるごと！高尾山GREEN CLEAN作戦」を、当センターも森林インストラクター東京会と連携して実施しました。8月11日(金)、当日は朝から小雨模様の生憎の天候でしたが開会式が終わった頃には雨も上がり、参加者総勢125名が4班に分かれ、4か所の登山口(①カツラ林コース、②琵琶滝コース、③日影いろはの道コース、④日影林道～もみじ台コース)から一斉にスタートし、山頂には予定通り全員無事に到着。昼食後、全員で記念写真撮影。4つのコースとも、“ゴミの持ち帰り運動”が浸透しており、全体にゴミの量は少なかったものの、ペットボトル、缶、ビン、紙ごみ等45L×1袋+25L×3袋を回収しました。4つのコースとも一人の脱落者もけが等もなく当センター前に予定通り到着し、閉会式を4コース全員集合で実施し解散しました。

国有林からも東京事務所及び当センターの職員8名(各コース2名)が参加し、山の日PR用の「半被」を羽織りながら「山の日」のPR等を行いました。



みんなで集合写真!



回収ゴミ

「期間限クラフト体験！」

(8月7日～13日開催)

今年も「夏休み特別クラフト体験教室」を開催しました。期間限定で小学生以下の児童を対象として日替わりで作るクラフト作品を、林野庁・関東森林管理局・センターHP等で紹介したところ、隣接する「TAKAO599祭」の来場効果もあり、連日家族連れで満員御礼・大好評でした。夏休み満喫中の子どもたちは、指導にあたったインタープリターに木の実の名前や工作のコツを教えてもらいながら、楽しそうにそれぞれ工夫して自分だけの作品を作り上げていました。



「森林教室の開催」と「森林の働きを紹介するパネル展示」等 (8月7日～13日開催)

センター庁舎1階の展示室において、期間中「いのちの森高尾山(DVD)」等を活用した森林教室を、センター職員が補足説明を行いながら実施しました。

また、高尾山を訪れる人々に高尾山の国有林や自然のこと、森林・林業のことなどを知ってもらうため、樹木の材鑑等の展示、森林ふれあいイベント情報発信



及び森林の働きを紹介するパネル展示等を開催しました。



～ “山の日” 制定記念イベント～



「魚取りと自然体験教室」

(8月12日及び13日両日開催)

裏高尾の日影沢キャンプ場等において、NPO法人「森とでんえん倶楽部」と連携して、夏休み高尾山自然体験教室を実施しました。

8月12日(土)は43名、13日(日)は30名が参加し、お父さんお母さん、家族の皆さんと一緒に高尾山の素晴らしい環境の中で、「高尾山の植物観察、生き物探し、昆虫観察、草笛体験、小川での魚取り、川遊び、スイカ割り、ドングリで作ったカブト虫・クワガタの相撲大会」を行いました。

参加した子どもたちは、森林インストラクターと一緒に森林散策や川遊びを楽しんでいました。



「TAKAO599 祭 山の学校」

(8月11日～13日開催)

3連休は「まなぶ あそび つくる」をテーマに高尾599ミュージアム主催、国土緑化推進機構共催、林野庁、東京都環境局、八王子観光コンベンション協会後援、併せて京王電鉄、石井スポーツグループの協力を加えて



けい太くんも参加

「山の日」の話題と関心を高尾山に向け、大型の集客を図る「山の日 記念 TAKAO599 祭 山の学校」のイベントが開催されました。

公募イベント

photolibrary

子ども樹木博士と丸太切り

木の名前いくつ覚えられたかな？

8月19日(土)に「子ども樹木博士と丸太切り」を日影沢キャンプ場周辺にて開催しました。8月に入ってからほとんど日差しの届かない日々が続いていましたが、当日は久しぶりに太陽の光を感じることが出来ました。今回は山の日企画として親子で樹木の名前を覚えて森に親しんでいただくことが目的です。

参加してくれた子どもたちは小学3年生から中学1年生まで幅広い年齢層でした。

まず午前中は、森を散策しながら樹木の名前を勉強します。帰ってきたら昼食を挟んで試験です。今回は20問の出題で全問正解ならば2段の称号が与えられます。

試験が終わると丸太切りの時間です。間伐材のヒノキの切り口からいい香りが漂ってくると「なんかいい香りがするね・・・」「お風呂に入れたらいいかも？」などと様々な声が聞こえてきました。おそらく試験の疲れもふっとんだのではないのでしょうか。

そして採点が終わり、いよいよ結果発表となりました。苦戦した人、満点だった人と成績は様々でしたが「森に親しむ」一日を全員が満喫して無事に終了することができました。(磯)



よくがんばりました！

森林教室

～墨田区 両国幼稚園～

暑くても元気いっぱい！

7月17日（月）「海の日」、海ではなく山（当センター）に墨田区両国幼稚園の園児たち78名がやってきました。この日は気温が35度を超える猛暑日となり、しかも午前中は高尾山頂まで登山して午後から森林教室へ参加するというハードなスケジュールにもかかわらず、みんな至って元気。

荷物を置いて元気に挨拶をしたあと、丸太切りとブンブンゴマ作りの2組に分かれて開始しました。丸太切りでは、さすがに大人の手助けが必要な場面が多かったのですが、中には「全部一人でやる！」と張り切って汗びっしょりになっている子もいました。ブンブンゴマ作りでは、思い思いの絵柄を描いた木のスライス板に苦労してヒモを通し一生懸命にコマを回して、さらに汗だくになっていました。今回は短い時間でしたが、最後はみんな素敵な笑顔で「ありがとうございました！」と帰っていきました。（磯）



Forest 通信 No.343

発行：林野庁関東森林管理局高尾森林ふれあい推進センター

【ご意見、ご要望及びイベント情報のお問合せ先】

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター

〒193-0844 東京都八王子市高尾町 2438-1

電話 050-3160-6040 FAX042-663-7229

<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html>

林業体験

～拓殖大学～

雨上がりで泥だらけに！

迷走を続けた台風5号が関東地方に接近した8月8日（火）、拓殖大学「環境政策ゼミ」の学生20名と教授1名が森林ふれあい館を訪れました。このゼミでは、「環境演習の一環として、日本の人工林の維持管理の大切さを現場での間伐等、実地での体験を通して学ぶ」ことを目的に、ここ数年当センターにおいて林業体験を実施しています。昨年、一昨年と雨に見舞われたため、実施時期を1ヶ月早めて計画したところ、なんと今回は台風が接近し、今年は中止かと心配しましたが、大した影響もなく予定どおりに林業体験を実施することができました。午前中はふれあい館において「日本の森林と林業」についての講義を行い、午後は、雨上がりで足場の悪い急傾斜地で悪戦苦闘しながら間伐作業を体験してもらいました。初めて間伐を体験した学生からは、「こんなに大変だとは思わなかった。一生に一度しかできないような貴重な体験をさせて頂きありがたかった」等感謝の言葉が多く聞かれ、教授からは、来年も是非お願いしたいとの申し出がありました。台風の影響がムシムシした暑い中で汗だくになりながらの体験でしたが、多少なりとも日本の森林・林業について理解して頂けたのではないかと思います。（谷）



編集後記

今年の8月は雨続き。後半に入りやっと日差しが戻ってきたが、子どもたちにとってはちょっと可哀想な夏休みだった。そして森林教室も後半戦が始まる。夏休みで真っ黒に日焼けした子どもたちがこれから沢山やってくることだろう。気合い入れなきゃ！（磯）